

**USER MANUAL**

# **ART 3 SERIES MK4**

PROFESSIONAL ACTIVE  
SPEAKER SYSTEMS





目次	2
安全にお使いいただくために	3
使用上の注意	4
修理 / 保証 / サポートについて	5
製品について	6
リアパネル	7
設置について	8
障害の判断および安全性について	9
製品スペック	10

# 安全にお使いいただくために



**重要：**この製品を接続し使用される前に、必ず本書をお読みください。また本書はいつでも確認できる場所に保存してください。

製品マニュアルはこの製品の一部であり、製品の所有権を変更する場合は必ず製品に添付してください。

製品の誤った設置や誤った使用方法により発生するいかなる責任についても、音響特機は負うことはありません。

**警告：**火災や感電を避けるため、この機器を湿気の高いところや雨に濡れるところに設置しないでください。

本製品は屋内での使用のみを想定しています。

**注意：**感電を避けるため、グリルを外している状態で電源に接続しないでください。

## 安全にお使いいただくために

1. お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、以下の注意事項をよくお読みください。
2. 電源について
  - 主電源の電圧は高く、感電する可能性があります。コンセントに接続された状態の電源コードを本体に接続しないでください。
  - 電源を入れる前に、全ての接続が正しく行われ、主電源の電圧が本体電源ソケットに記載のある電圧に対応していることを確認してください。
  - この機器はコンセントの近くに設置し、電源ソケットに簡単に手が届くようにしてください。
  - 電気的部分は電源コードにより接地されています。クラスⅠに分類される機器は、コンセント接続時に保護接地されている必要があります。
  - 電源コードを傷つけないでください。電源コードの上に重いものを載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしないでください。
  - 感電を避けるため、この機器のカバーは外さないでください。内部の点検 / 修理は弊社にご依頼ください。
3. この機器の内部に液体や異物を入れないでください。基盤がショートする原因となる場合があります。  
また、この機器を雨や霧にさらさないでください。花瓶など、水や液体で満たされたものをこの機器の上に置かないでください。また、火のついた口ウソクなどをこの機器の上に置かないでください。
4. このマニュアルに明示されていない操作や改造、修理を行わないでください。  
以下のような状態になった場合、弊社にお問い合わせください。
  - 製品が正しく機能しない（もしくは意図しない方法で機能する）。
  - 電源コードが傷ついてしまった。
  - 異物もしくは液体がこの機器内部に侵入してしまった。
  - この製品に大きな衝撃を与えてしまった。
5. この製品を長期間使用しない場合、電源コードを抜いてください。
6. この製品が異臭や煙を発した場合、直ちに電源を切り、電源コードを抜いてください。

重要



警告



注意



7. この製品を想定されていないアクセサリや機器に接続しないでください。

天井に吊って設置する場合、正しいアンカーポイントを使用してください。また不安定な金具や本製品に適さないアクセサリを使用しないでください。また本製品を壁面に設置する場合は、必ずその適合性や安全性を事前に確認してください（壁、天井、構造等）。また設置の際に使用する部材（ねじアンカー、ねじ、純正ではないブラケット等）についても同様に確認を行ってください。例えばトランスデューサーの振動により発生する機械的な振動なども考慮して、システム / 設置の安全性を保てるようにしてください。機器が倒壊するのを防ぐため、マニュアルに特定の記載がない限り、複数の製品を重ねて設置しないでください。

8. この製品を設置する場合は、正しく機器を設置し、安全を確保することのできる専門の技術者に依頼することを推奨しています。オーディオシステム全体は、規制などに準拠する必要があります。

9. サポートとトロリー

この機器を運搬する際は、メーカーから推奨されているものを使用してください。また運搬の際は細心の注意を払ってください。突然停止したり、過度に力を加えたり、床に凸凹がある場合、カートがひっくり返る場合があります。

10. プロフェッショナルのオーディオシステムを設置する際には、音圧、カバレッジ角度、周波数レスポンスなどの音響的な要素に加えて、機械的および電気的な要因を考慮する必要があります。

11. 聴力損失

高いサウンドレベルに晒されると、恒常的な難聴を引き起こす可能性があります。聴力損失を招く音圧レベルは人によって差があり、高いレベルに晒される時間により変化します。高い音圧による聴力損失を防ぐため、これらの機器を使用する場合は適切な保護具を着用してください。搭載されているトランスデューサーが高いサウンドレベルを再生することができる場合、耳栓もしくは保護用のイヤフォンを着用することが必須となります。製品マニュアルに記載されている技術的スペックより、最大音圧レベルを確認してください。

**重要：**マイクやラインケーブルからのノイズ発生を防ぐため、シールドされたケーブルのみを使用してください。また、以下の近くにケーブルを置かないでください。

- 強い電磁場を生成する機器
- 電源ケーブル
- スピーカーケーブル

**重要**



## 使用上の注意



使用上の注意

- この製品を熱源の近くに設置しないでください。また、十分な空気循環がある場所に設置してください。
- 本製品に長時間過負荷をかけないでください。
- 制御パーツ（スイッチ、ノブ、その他）に不要な力をかけないでください。
- 本製品のお手入れを行う際には、溶剤、アルコール、ベンゼンまたはその他の揮発性物質を使用しないでください。乾いた布を使用してお手入れを行ってください。

## 修理について

日本仕様の RCF 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。RCF 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。

- 弊社ホームページ (www.otk.co.jp) の「修理依頼」より「REPAIR カード」をダウンロードしてください。「REPAIR カード」に必要事項をご記入の上、03-5534-6783 へ FAX もしくはメールにて送付してください。折り返し修理受付番号と送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX もしくはメールにて返送致します。修理受付番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- オーナーズマニュアルと電源コードは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- 修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを必ず同梱してください。また送り状の通信欄にも、修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。修理受付番号のない修理品は受付できません。

## 保証

本機の保証期間はご購入日より 1 年です。

保証期間内に正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- お買い上げ後の輸送 / 移動 / 落下などによる故障および損傷
- ご使用上の誤りおよび弊社の認可していない修理や改造による故障および損傷
- 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷
- 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障および損傷
- 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- 日本国外でご使用中の故障、損害

## サポート

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

音響特機 RCF カスタマーサポート

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1 CSS ビルディング 3F

TEL: 03-3639-7800

FAX: 03-3639-7801

故障 / 修理や保守についてのお問い合わせは

音響特機サービスセンター

〒136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1F B 棟

株式会社日本システムサービス内

TEL: 03-5534-6782

FAX: 03-5534-6783

Email: repair@otk.co.jp

営業日: 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日: 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季



## At RCF we care about your sound.

RCF は 1996 年に ART シリーズを発表し、以降アクティブラウドスピーカーの第一線のメーカーとしてその地位を確立してきました。ART シリーズは日常的な使用に耐える十分な強度と軽量化を兼ね備えたキャビネットでパワフルなサウンドを提供することができるスピーカーシリーズです。RCF の研究開発チームは ART シリーズの技術を進化させるべく長年に渡り研究を進め、ART322-A や ART310-A、そしてデジタルアンプを搭載した ART725-A など多くの製品を開発しました。

RCF は常にユーザーの要望を第一に考え、機能の向上、サウンドの明瞭さ、そして軽量化を実現する新しいスピーカーを設計しています。

**ART 3 Series MK4** は革新的なデザインとサウンドを備えた、ART シリーズを象徴する最新鋭のスピーカーです。音に携わる全ての人に納得してもらえるツールを提供するため日々研究を重ね、細部にまでこだわり設計されています。

RCF の研究開発チームは、高品位な材質の選定、精密な製造過程、慎重な組み立て、そして徹底した品質管理による革新的な設計作業を行っています。

ART 3 Series MK4 に搭載されているトランスデューサーにはフェライト製の高出力マグネットが採用されており、より高いパフォーマンスと軽量化を実現しました。またすべてのコンプレッションドライバーとトランスデューサーは RCF の優れた成形・組立技術、および豊富な専門知識と経験を活かし精密に作られています。

ART 3 Series MK4 には低域ウーファー用に 300W、高域コンプレッションドライバー用に 100W、合計 **400W の新世代デジタルアンプ** を搭載しています。低歪かつ高出力で自然なサウンドを実現します。

また XLR およびフォーンのバランス入力端子、XLR の LINK 出力端子、マイク / ラインスイッチ、ボリューム、そして切り替え可能な EQ モード (FLAT/BOOST) を搭載しています。アンプは頑丈なアルミニウム構造になっており、移動時の安定性だけでなく熱放散にも効果的です。

また出力を最大限に高め、かつ重量を最小限に抑えるために**スイッチング電源**を採用しています。

ART 3 Series MK4 は人間工学に基づいて設計されており、機能性および音質を最大限に高めることができるデザインになりました。

キャビネットは特殊なポリプロピレン複合材料で成形されており、最大出力時でも振動を軽減することができます。またバスレフポートのサイズを見直し、効率化を図っています。ART310-A MK4 には、持ち運びに便利なハンドルが天面に装備されています。ART312-A MK4 および ART315-A MK4 には、人間工学に基づいて設計された 3 つのハンドルが側面 2 箇所、天面 1 箇所に装備されています。全てのモデルの底面には、頑丈なスチール製ポールマウントが搭載されています。

キャビネットのシェイプも刷新され、メインスピーカーのみでなくステージモニターとしても使用できるようになりました。

また設備用途として別途マウントハードウェアを取り付けられるよう、M10 サイズのマウントホールを装備しています。

## コンポーネント

## アンプ

## キャビネット

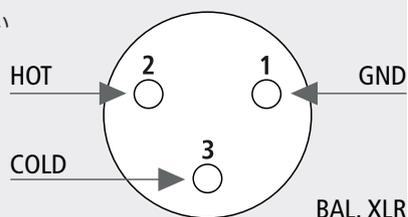
# リアパネル

1. INPUT 端子 (XLR/ フォーン, バランス / アンバランス) : 本製品は XLR 端子およびフォーン端子の入力に対応しています。これらの入力端子を使用してバランスもしくはアンバランスのマイクレベルの信号、およびラインレベルのオーディオ信号を入力することができます。バランス型端子はパラレル接続されており、オーディオ信号を他のパワードスピーカー、レコーダー、補助アンプに送る際に使用できます。
2. LIMITER LED : アンプには、アンプのクリッピングやトランスデューサーのオーバードライブを防ぐためのリミッター回路が組み込まれています。ソフトクリッピング回路が作動すると、LED が赤色に点滅します。LIMITER LED が時折点滅する程度でしたら問題はありません。頻繁あるいは連続して点灯する場合は、信号レベルを下げてください。
3. SIGNAL LED : メイン入力端子に信号が入力されている場合、この LED が緑色に点灯します。
4. POWER LED : スピーカーが電源に接続され電源がオンになると、この LED が緑色に点灯します。
5. LINK 端子 (XLR 端子) : XLR のバランス出力端子です。INPUT 端子とパラレル接続されているため、INPUT 端子に入力されている信号がそのまま出力されます。
6. VOLUME : コントロールアンプのボリュームを調整します。このコントロールは、LINK 端子の出力レベルには干渉しません。
7. FLAT/BOOST スイッチ : EQ を FLAT もしくは BOOST に切り替えるスイッチです。「BOOST」は低い音量での再生を求められる BGM 用途に最適です。その他の用途では基本的に「FLAT」での運用をおすすめします。
8. INPUT SENSITIVITY : スイッチミキサーなどの高いラインレベル信号 (0 dB) を入力する場合には「LINE」に設定し、マイクなどのレベルが低い信号を入力する場合には「MIC」に設定してください。
9. 電源ソケット : 付属の電源コードを接続します。まず本体と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。
10. ヒューズ : ヒューズが格納されています。
11. 電源スイッチ : 本体の電源をオン / オフします。



XLR 端子は AES により定められた以下の規格に基づいた配線となっています。

- PIN 1 = GROUND (SHIELD)
- PIN 2 = HOT (+)
- PIN 3 = COLD (-)



接続に関して

リアパネルにはすべてのコントロール、入出力端子、電源ソケットが配置されています。電圧の規格を変更する場合は、販売会社もしくは音響特機 RCF グループまでお問い合わせください。電圧の規格を変更する場合はヒューズを交換する必要があります。国内正規品はすべて日本国内での使用を想定し販売しているため、日本国外で使用することはできません。

オーディオケーブルや電源ケーブルをすべて接続した後、必ず本体の VOLUME コントロールが最小まで絞られているか確認をしてください（ミキサーの出力が最小になっているかも確認してください）。スピーカーの電源をオンにする前に、ミキサーの電源をオンにしておいてください。これにより突発的に発生するノイズを軽減し、スピーカーへの負担を減らすことができます。スピーカーの電源は最後にオンにし、使用が終わったら最初にオフにすることを心掛けてください。それでは、ミキサーの電源がオンになっていることを確認したうえで、スピーカーの電源をオンにしてください。その後、適切な値まで VOLUME コントロールを調整してください。

アンプには DSP とアンプをコントロールするためのマイクロプロセッサが搭載されています。電源を入れると、スピーカーの状態に問題がないかどうかを確認するため、初期化動作を行います。まずすべての LED（LIMITER、SIGNAL および POWER）が約 2 秒程消灯します。その後パワーアンプに問題がないことが確認できたら、POWER LED が緑色に点灯します。スピーカーに深刻な問題がある場合、リアパネルの LIMITER LED が赤色に点滅します。この場合、スピーカーはミュート状態となります。

スピーカーにケーブルを接続する前に

スピーカーの電源をオンにする前に

スピーカーの電源をオンにする

## 設置について



スピーカーキャビネットの底部には 35mm のポールマウントソケットが搭載されており、これを利用してスピーカースタンドなどにマウントすることができます。金具を使って ART シリーズを固定する場合は、専用の金具を使用してください。いかなる場合でもキャビネット両側にある 2 箇所の M10 サイズの穴を使って固定してください。

**警告：** スピーカーを吊り下げるためにスピーカーのハンドルを使用しないでください。ハンドルは運搬のために使用してください。

警告



# 障害の判断および安全性について



電源をオンしてから POWER LED が点灯するまでの間、LIMITER LED の赤色 LED を確認することで、スピーカーにどのような障害が発生しているかを確認することができます。障害は下記の 3 種類に分類されます。

**WARNING (警告)**：軽微な不具合もしくは自動復旧機能の不具合が検知されたが、スピーカーのパフォーマンスは制限されていない状態。

**LIMITATION (制限)**：不具合が検知され、スピーカーのパフォーマンスが制限されている（サウンドレベルが 3 dB 減衰されている）状態。スピーカーから音は再生されますので、オペレーションに影響はありません。しかしスピーカーに何かしらの問題が発生している可能性が高いため、お買い上げの販売店または音響特機 RCF グループに点検や修理をご依頼ください。

**FAILURE (不具合)**：深刻な不具合が検知されている状態。この場合、スピーカーはミュート状態となります。

LED の点滅回数：1 回または 2 回 = WARNING (警告)、3 回または 4 回 = LIMITATION (制限)、5 回から 8 回 = FAILURE (不具合)

また不具合が検知された場合は、POWER LED は点灯しません。

スピーカーに何かしらの問題が検知された場合、以下の項目の確認を行ってください。

- スピーカーが正しく電源に接続されているかどうか
- 電源が正しい電圧仕様になっているかどうか
- アンプがオーバーヒートしているかどうか
- 電源を一度オフにし電源コードを本体から抜き、数分待って再度接続を試してみてください。これらの項目を確認したうえでもまだ赤色の LIMITER LED が点灯する場合、お買い上げの販売店または音響特機 RCF グループに点検や修理をご依頼ください。

230V, 50 Hz : FUSE 1.6A 250V

115V, 60 Hz : FUSE 3.15A 250V

## 電圧について

# 製品スペック



	ART310-A MK4	ART312-A MK4	ART315-A MK4
<b>音響スペック</b>			
周波数特性	50 Hz ÷ 20 kHz	50 Hz ÷ 20 kHz	45 Hz ÷ 20 kHz
最大出力音圧	127 dB	128 dB	128 dB
水平指向角	90°	90°	90°
垂直指向角	70°	60°	60°
クロスオーバーポイント	1,800 Hz	1,800 Hz	1,800 Hz
<b>トランスデューサー</b>			
低域	10", 2.0" v.c.	12", 2.5" v.c.	15", 2.5" v.c.
高域	1", 1.5" v.c.	1", 1.5" v.c.	1", 1.5" v.c.
<b>アンプ</b>			
トータルパワー	800W Peak, 400W RMS		
低域	600W Peak, 300W RMS		
高域	200W Peak, 100W RMS		
<b>電源供給</b>			
AC 電源	日本国内向け 115V 50 Hz - 60 Hz, タイプ: 'スイッチング'		
<b>物理スペック</b>			
キャビネット材質	ポリプロピレン複合材		
寸法 (H × W × D)	537 × 337 × 315 mm	680 × 405 × 345 mm	
重量	12.4 kg	16 kg	19 kg
カラー	黒		
<b>別売アクセサリ</b>			
水平ブラケット	AC-ART310 H-BR ART310 用水平ブラケット (1 本用)	ART H-BR ART312/ART315 用水平ブラケット (1 本用)	
垂直ブラケット	-	ART V-BR ART312/ART315 用垂直ブラケット (1 本用)	
カバー	ART310 COVER ART310 用カバー	ART312 COVER ART312/ART315 用カバー	



